

【法蔵館文庫】

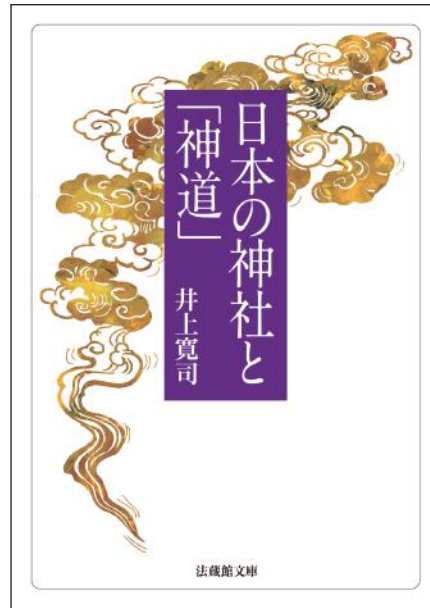
日本の神社と「神道」

日本史・宗教

いのうえ ひろし

井上寛司 著 ▼文庫判・並製カバー！491頁・定価一、六五〇円

2024年5月刊行



古代から近現代に至る歴史過程を通じて、「神道」とはいかにして存在し機能したのか。それは各々の時代における神社・神社祭祀や神祇信仰の在り方とどのように関わっていたのか等、トータルなあたりで明らかにした画期的論考。

【目次】

はしがき

序 章 「神道」と神社史研究の課題

―「顕密体制論」の批判的継承・発展のために―

第一章 日本の「神社」と「神道」の成立

第二章 中世末・近世における「神道」概念の転換

第三章 「国家神道」論の再検討

―近世末・近代における「神道」概念の転換―

結 章 日本の「神社」と「神道」

附論 古代・中世の神社と「神道」

あとがき

文庫版あとがき

◆著者略歴

井上寛司（いのうえひろし）

一九四一年生まれ。大阪大学大学院修士課程修了。島根大学・大阪工業大学名誉教授。専門は日本中世史・神社史。主な編書に『日本中世国家と諸国一宮制』（岩田書院）、『神道』の虚像と実像（講談社現代新書）、『出雲罫淵寺旧蔵・関係文書』（法蔵館）などがある。

注文書	様冊
(書店印)	ご担当
井上寛司著	法蔵館
日本の神社と「神道」	定価 一、六五〇円
【法蔵館文庫】	
ISBN : 978-4-8318-2664-0 C1121	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp